

令和4年度 議会運営委員会 視察報告書

1 視察日

令和4年10月27日（木）～28日（金）

2 参加委員

宮川大樹（委員長）、山田忠晴（副委員長）

木南和也、ストラットン恵美子、宮崎朋子、高山ゆう子、丸山章、石田裕一

3 視察先

栃木県宇都宮市、埼玉県桶川市

4 調査事項及び説明を受けた内容

月日	視察先	調査事項	説明を受けた内容
10月 27日 (木)	栃木県 宇都宮市	非集合型映像会議 の取組について	・委員会等のオンライン開催について、検討の経緯、開催の手法、例規の改正、検討のポイント等
10月 28日 (金)	埼玉県 桶川市	「議会の音楽発表 会」について	・議場で音楽会を開催することについて、開催の経緯、実際の様子（録画）、市民や議員の反応、議会運営への考え等

5 参加議員の所感

(1) 宇都宮市議会

議会運営におけるオンラインの活用は、委員会に出席を希望するが濃厚接触者となった議員や新型コロナウイルス感染症により外出を自粛している議員の委員会出席のための手段として有効である。

また、コロナ以外の感染症や大雪などによる交通遮断などによって委員会の開催が困難になった場合においても利活用が可能である。

上越市議会として理事者側との連携や市民への中継の仕方など、有効かつ市民に分かりやすく活用していく手法については、導入と並行して検討する必要があると感じた。

まずは、宇都宮市議会のように災害時の対応として、オンライン会議の仕組みを取り入れていくことは重要である。

(2) 桶川市議会

上越市議会においても、市民に議会を身近に感じてもらう活動が必要である。今後も「議会を身近に感じてもらえること」を目指して、アイデアを出し、試行錯誤していきたいと思う。桶川市議会は、議会のマンネリ化の打破、市民が主役になれる場所を用意して、今後も開かれた市議会を目指すとのことである。より多くの市民の方々とコミュニケーションがとれる市議会のあり方を議論する必要があるように思う。その上で、「議場内での音楽発表会」といった、驚きを得るようなアプローチが上越市議会においても必要なのかもしれません。